

# 道下公民館改築20周年



道下公民館長を8年間勤めあげられた東城豊二氏の描き貯められた数々の絵画の中から、16枚の風景画をお借りして、公民館改築20周年記念のカレンダー「思い出の風景」を製作しました。記念事業として既刊の道下公民館だよりの縮刷版を只今製作中です。出来上がりましたらまた皆様にお知らせします。

**東城豊二前公民館長の  
絵画16枚を配して  
記念カレンダーを製作**

# 道下公民館だより

No. 82 号

発行者 大崎 勇  
編集者 編集委員会  
TEL 0765-22-2285  
ホームページアドレス  
<http://www.nice-tv.jp/~michi-k/>

男子2部	個人	団体	2/1 第33回市民卓球大会
女子2部			
次勝	次勝	参勝	道下

北野京子	加藤敏明	岡田	岡田	岡田	岡田	北中新町	高畠A	高畠A	次勝	三位	次勝	2/1	第33回市民卓球大会

11/23 第27回道下地区

ビーチバレー・ボルダリング大会

受賞  
おめでとう  
ございます

虎谷 庵氏

(本新区)

平成二十年魚津市  
校下・地区防犯組合  
功労表彰

表彰  
おめでとう  
ございます

改革20周年記念誌  
道下公民館だより  
(昭和56年6月～平成21年3月)  
平成21年3月  
道下公民館



優秀賞 保里昭男(下道区)  
「蝶六(はねそ舞)」

文化  
道下スピードモンスターズ  
準優勝 道下マヨDX  
3位

1/24 新川経済俱楽部  
結成30周年記念事業  
新川フォト「ンテスト」

2/11 第7回ユニアホック交流大会  
(一般)  
参勝 道下ドリーム

# 道下青少年活動 平成20年度 サーカル活動

(三味線) サークル (将棋) サークル



6 / 23

道下ドキドキジュニアサロン9  
ポリロケットを作ろう



H20 6 / 8

道下地区敬老会で  
ジュニアボランティア



7 / 12

第3回ふるさと探訪ウォーク「経田編」  
共催 松倉公民館



日本を代表する楽器の一つである三味線で、道下の子供達が魚津の郷土芸能「せり込蝶六」や「蜃気楼節」等、富山の民謡を演奏する事ができるまでになつた。月に一回だけの練習だが、観光街流し、小学校の運動会での発表とても頑張っている。道下の子供達これからも頑張れ！とエールを贈りたい。（浜田長藏）



講師 浜田長藏

将棋の基本戦法や、上手な駒の使い方などを勉強しています。いつも元気に走り回っている子どもたちもこの時間は大盤に向かって問題を考えたり、相手との対局に勝つための「次の一手」に悩んだり、静かに頭をつかっています。将棋を学び、先を見通す事ができる人になつてほしいです。



講師 亀田瑞穂



講師 高村宗澄

好きな活動で楽しんだ一年間。皆さんにサークル活動がどのように心に残ったでしょうか。

今年のサークルで目指したのは「今日も新しい太陽が昇る」「新しい年がくる」「新しいものをみつける」という気持ちで、新しい旅にしたいという考え方で進めました。



講師 米屋文雄

スポーツサークルは上級生が下級生の世話をしながら、ビーチバレー、ボールやバスケットボール、ドッヂボール等に取り組みました。活動が始まると子供達の目が活き活きしてきたのが印象に残りました。準備やサポートを頂きました方々に感謝致します。



講師 道下体育振興会

サークルではバランスの取れたレシピを提案してきました。①乳製品やビタミンB1で夏バテを防ごう。②野菜をたくさん食べよう。③カルシウムを摂ろう。その他、ソーセージやクッキー作りなどいろいろな事にチャレンジした一年でした。楽しく作り、美味しく食べた後の片付けもちゃんとできるようになり何よりも喜んでいます。(石川登美子)



講師 地区食生活改善推進員



道下地区の高齢者学級は、毎回多  
数の会員が参加され、二十年度は九  
回開催したが、一  
回平均四十二名だ  
った。

高齡者學級

學級長 大浦 龍雄



環として「婦人会活動を行つて女運動のセー  
ス」を第一に行事で絶のみであります。」  
「元気」「健康」「樂」の三つの会員のみで  
あることを第一に、次に「新聞で開講式  
の講演をして、その他の企画をする。  
さかの会員は、その他の企画をする。  
下参下の会員は、その他の企画をする。  
までも道婦人会員は、その他の企画をする。  
す。」

女性セミナー

學級長  
山城美和子



この教室は、小学校四年～六年生を対象にバドミントンの楽しさを体験してもらおうと、二年前から行つておなり、平成二十年度も無事終了しました。月二回と回数は少ないですが、毎月二十人近い出席があります。二十一年度も引き続き行います。興味のある方は、ぜひ参加してみてください。

バドミントン教室

講師木下英暖



★11/15  
花のふれあい交流  
共催 道下地区社会福祉協議会



道下ドキドキジュニアサロン11  
プレーバスがやってくる



12/6 サンタと作ろう X'masケーキ  
協力 青空クラブ



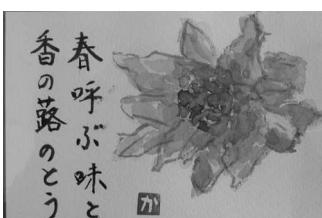
# 12/20 2008年 三世代道下もちつき会 共催 道下地区社会福祉協議会



1 / 24



2/14 ほっと!! デザートバイキング  
協力 真空クラブ



絵手紙サークル作品

# 道下の歴史を語る会

平成二十年九月、道下公民館サポーター十七名の委嘱が行われました。その中から歴史が好きな四名（寺田良作、山本晃正、細田宏一、本元義明）と大崎勇館長を含めた五名でスタートしたのが「道下の歴史を語る会」です。月一回の定例活動会を目標に半年ほど活動してきました。その活動内容の一端を紹介したいと思います。

平成二十年十一月発行の公民館だよりに、会員の細田氏が「藩政時代の魚津漁業と北鬼江神社の大松」のことを寄稿されました。漁場設置と大松というこれまで知られていないかたた道下の歴史を紹介しておられます。このように道下の歴史を掘り起こしていくのが会の大きな活動目標です。

ただ、掘り起こしの対象は古い文献ばかりではなく、生の道下の歴史へも広げたいと考えています。即ち、今生きておられる方から道下の昭和史を探ろうという試みです。具体的には、道下にお住まいの「昭和元年前後に生まれた世代」、「昭和十年前後に生まれた世代」、「昭和二十年前後に生まれた世代」、「昭和二十年前後に生まれた世代」、「昭和二十年前後に生まれた世代」のまとまりでお集まりいただき、戦前、戦中、戦後の時代の生のお話

を生きた歴史として聞き取りをして、道下地域の歴史民俗的特色をとらえようとするものです。また、この取り組みは地域の人との交流連携を図ることになるので、公民館活動としても意義があります。

これまでに、十一月と一月の二回、座談会形式で語る会を実施しましたので、概要をお知らせします。

◎ 《第一回語る会》

・「を叩かれたら負け」－と、遊びをして体を温めた。

・学校へは縞の着物を着て行った。よくほどけたので針金で縛つて直していた。

・履き物は、草履や「あしなか」という半草履。下駄も履いた。

・雨具は、冬はマント、梅雨時はカツトリ。

・弁当を持つてくる者は半分近くの者は家に食べに行つた。おかげは梅干しやみそ漬け。今は三度々々祭りみたいなもの。

・狐やカワウソが出ないようにならうと、地蔵さんがあり、守ってくれた。

・親に強制的に嫁に行けと言われて結婚した。

・戦前は軍隊への服従が絶対であつた。赤紙が来て、満州から沖縄へと転戦したがなんとか生還できた。戦争への嫌悪感は今でも強い。

・戦死者が出て、平和の大切さを認識していたのに争いごとが絶えない。今が幸せその認識が必要。

◎《第一回語る会》

【語られた概要】

- ・ 兵隊に行かれる方に千人針を渡した。父親を富山の連隊まで見送りに行つた。
- ・ 学校へは縞の着物を着て行った。よくほどけたので針で縛つて直していた。
- ・ 履き物は、草履や「あしなか」という半草履。下駄も履いた。
- ・ 雨具は、冬はマント、梅雨時はカツトリ。
- ・ 弁当を持つてくる者は半分。近くの者は家に食べに行つた。おかげは梅干しやみそ漬け。今は三度々々祭りみたいなもの。
- ・ 狐やカワウソが出ないようになにあちこちに地蔵さんが守ってくれた。
- ・ 親に強制的に嫁に行けと言われて結婚した。
- ・ 戦前は軍隊への服従が絶対であつた。赤紙が来て、満州から沖縄へと転戦したが、なんとか生還できた。戦争への嫌悪感は今でも強い。戦死者が出て、平和の大切さを認識していくのに争いごとが絶えない。今が幸せ。その認識が必要。

【道下の歴史を語る会】

◎ 《第二回語る会》

【日時】一月十五日(木)

【出席者】辻かね子さん(昭八) 虎谷鈴子さん(昭八) 加藤孝司さん(昭十二) 田村光雄さん(昭十一) 松岡算さん(昭十一) 他会員三名

- ・ 春と秋には農繁期の休み。
- ・ グラウンドを畑にし、馬鈴薯を植え、中川の川縁に大豆を植えた。秋は落ち穂拾い、蝗取り、蓬、麻、チヨマの刈り取りもした。
- ・ 戰時中のことだけ載せました。残りは次回に紹介します。
- ・ 兵隊に行かれる方に千人針を渡した。父親を富山の連隊まで見送りに行つた。
- ・ 道下国民学校へ昭和十八年最初にカタカナで習う。教科書は新聞紙のような質の悪い紙。教科書は先輩にお願いして回して貰い、後輩に回した。ノートは無く、石板と石筆を使う。
- ・ 弁当には必ず混ぜご飯を持たされ、学校で調べた。弁当におかゆも詰めてきた。くず米の処理のために粉にして(ゾロ)食べた。
- ・ 裸足で学校に通つた。冬は長靴。ゴムの質が悪く中折れした。クラスに数足配給があり、くじで当たつた。
- ・ 雨具はカツトリ、とんびござ、マントなど。カバンはお下がりのランドセル。無い人は風呂敷。教室は低学年は男女同室、三年から男女別室。

編集後記

一、金  
拾万円

(青島3区)

ご寄付

ありがとうございました

## 道下地区の人口 (平成21年3月1日現在)

男	3,050人	(-21)
女	3,204人	( 0)
計	6,254人	(-21)
世帯	2,267戸	(-10)

※かっこ内は前号対比



夏日かと思つたらマイナス気温。あまりに差の激し過ぎる三寒四温。行事の多いこの時節には体にこたえます。

平成二十年度は公民館活動を手助けして戴ける方（サボーラー）を募集したところ、約二十名の方に賛同を得ることができました。更に多くの方にご参加いただき、より充実した地域活動をと新年度に期待を込めています。みなさんのご協力をお願ひします。